明日へ飛躍する企業をサポート ひょうご産業活性化センター通信

JUMP

1
2020 JAN
令和元年12月30日発行

元気企業訪問

株式会社三大

ひょうご海外ビジネスセンターの支援で海外で竹粉肥料を使った土づくりを指導

P6 活性化センター・カレンダー
P7 支援ネットのひろば
●情報カレンダー
●兵庫県信用保証協会かわら版
経営改善借換保証「ぜんしん」のご案内
●孫の疑問に答える博学ご隠居の技術談義
自己修復塗料
P10 成長期待企業のイチオシ！
株式会社WADECO
高炉用ミリ波センサー

今月の支援メニュー

ひょうご海外ビジネスセンター

海外ビジネス展開に取り組む県内企業を支援。神戸市、ジェトロとの3機関で構成する「ひょうご・神戸国際ビジネススクエア」として、ワンストップでの支援を行っている。

ひょうご海外ビジネスセンターでは、投資リスクの高い初期段階での海外事業展開にかかわる調査費の一部を助成する「中小企業海外展開支援事業助成金」などを通じて中小企業の海外進出を後押ししています。地域の竹林から作った竹粉肥料を用いた有機農業を展開する株式会社三大は、ミャンマーでの農業技術指導を入り口に、現地での竹粉肥料の販売まで広げようとしています。

元気企業訪問

株式会社三大

竹粉肥料を開発し トウガラシを生産 土づくりを通して ミャンマーの農業に貢献

竹粉肥料を開発し建設業から農業に参入

「ミャンマーで指導をするたびにまた必ず来てくれと懇願され、中には養父の本社まで訪ねてくれる人も。日本の優れた技術を渇望していることが伝わってきます」。2017年からミャンマーで農業技術指導に当たっている社長の吉井忠大さんは実感を込めて話します。

同社の母体となった会社は建設業。ある時、取引先から竹を肥料にする技術があることを知ります。また、竹を研究する関西大学環境都市工学部の山本秀樹教授から「データは提供するので研究に協力してほしい」という依頼があったことから、地域の耕作放棄地を借り受け、竹を粉末化した肥料を用いた農作を開始。併せて土壌改良の研究も進めました。

竹は乳酸菌を多く含み、粉末にした竹を嫌気性発酵させることで良質な肥料が出来上がります。「収穫した米は明らかに甘味も栄養価も高く、効果を実感した」と吉井社長。ちょうど、養父市が国家戦略特区の指定を受け「企業による農業参入」の規制を緩和したことから、市内企業の第1号として農業参入を果たしました。

その後、同大学の協力を得て、地域資源の「孟宗竹」の粉末に沖縄のもろみ酢などを配合した有機肥料「三大のちから」を開発。獣害を受けないトウガラシを、開発した肥料と焼却鶏糞だけを使った無農薬・無化学肥料で栽培したところ、京都のトウガラシ販売業者の目に留まりました。販売業者は、扱い量を増やしていくための生産地としてミャンマーに着目していました。そこで、吉井社長に「ミャンマーで竹粉肥料を普及し、トウガラシの質を上げてくれないか」と話を持ち掛けたのです。

海外展開支援事業助成金が後押し

吉井社長は、現地のマーケットを調べようと2015年にミャンマーを訪問。無農薬のトウガラシと農薬を使ったトウガラシが、輸出時には一緒にされて安く売られている状況を見て「価値を付けて高く売るサポートができないか」と感じたそうです。そこで、現地の農業試験場で自社の肥料を使った栽培実験を実施。コスト削減と生産性の向上が実証され、農業団体も、「農業の土台となる土を変えたい」と力説する吉井社長に共感してくれました。本格的に竹粉肥料の普及に努めたいと考えたものの「遠方で渡航費用もかかる」とためらっていた吉井社長の背中を押したのが、ひょうご海外ビジネスセンターの「海外展開支援事業助成金」でした。

再度訪問した際には、現地の竹粉と日本製焼却鶏糞を配合した有機肥料での農業の事業化を目的に、現地の畑を丹念に視察。そこで収穫される野菜はどれも小ぶりで、外国企業から安値で買われていることも分かりました。竹粉肥料の可能性を伝えると目を輝かせ、集落中から人が集まってきました。現在ではトウガラシにとどまらず、アボカド、マカデミアナッツ、ドラゴンフルーツ畑などにも指導先が広がっています。

「今はまだ肥料の販売には至っておらず、現地の農業で出る牛糞や米ぬかなどを使うようにしています。まずは技術指導を通じて農家の収入増を図り、それから竹粉肥料の販売まで持っ

ミャンマーで挿し木の実習を行う吉井社長

ていければ」と期待を寄せます。

その後、同センターの職員の紹介でつながった、JICA事業で来日中のカメルーン政府職員を研修生として受け入れ。そのネットワークを生かし、同国での有機肥料の普及も計画しています。

「ミャンマーの、日本の農業技術への関心は非常に高い。現地でのビジネスを考える日本企業とつなぐ仕事も手掛けていけたら」と吉井社長。農業を通じて生まれた世界との縁はさらに広がりそうです。

会社概要
株式会社三大

所在地　養父市八鹿町八鹿京口1847-1
代表取締役　吉井忠大
事業内容　農業、各種農業資材の製造・販売

TEL 079-662-3250
URL https://www.yoshii-kensetsu.co.jp/sandai/

支援メニュー講座　ひょうご海外ビジネスセンター

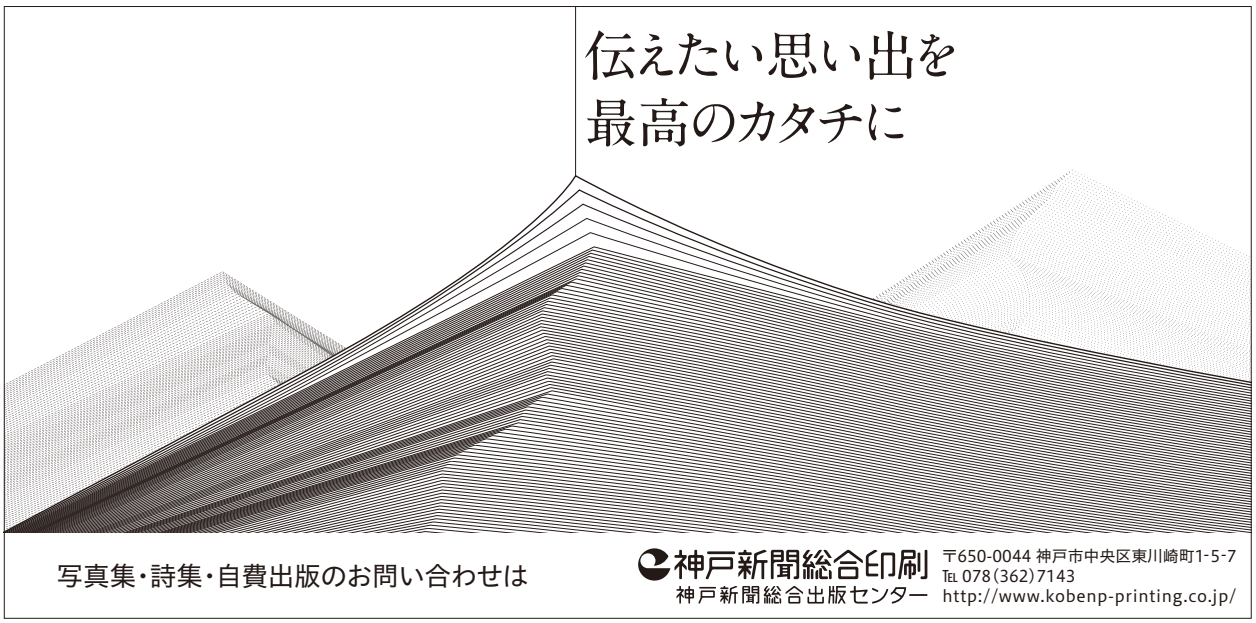
県内企業の皆さまの海外ビジネス展開をサポートします。

当センターはジェトロ神戸、神戸市海外ビジネスセンターと共に神戸商工貿易センタービル4階のフロアにあり、海外展開をワンストップで支援する連携組織「ひょうご・神戸国際ビジネススクエア」として、海外展開にかかるさまざまな相談に対して支援サービスを提供しています。

このほか、アジア主要都市10カ所に設置している「ひょうご国際ビジネスサポートデスク」や兵庫県海外事務所とのネットワークも生かしつつ、さらに海外展開調査に関する助成金事業のほか、セミナーやビジネスミッションの派遣を行うなど、県内企業の皆さまの海外展開を幅広く支援しています。お気軽にご利用ください。

海外ネットワーク

○ ひょうご国際ビジネスサポートデスク
- 中国（大連、上海、広州）
- ベトナム（ハノイ、ホーチミン）
- タイ（バンコク）
- インド（デリー）
- シンガポール
- インドネシア（ジャカルタ）
- フィリピン（セブ）

○ 兵庫県海外事務所
- アメリカ合衆国（兵庫県ワシントン州事務所）
- フランス（兵庫県パリ事務所）
- オーストラリア（西オーストラリア州・兵庫文化交流センター）
- ブラジル（兵庫県ブラジル事務所）
- 中国（兵庫県香港経済交流事務所）

問い合わせは　ひょうご海外ビジネスセンター TEL078-271-8402